

7月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成21年7月24日(金)14時～15時56分
- 2 開催場所 文化会館2階中集会室A
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、大石委員長職務代理人、森委員、榎崎委員、浦郷教育長
事務局：浦郷教育部長、藤崎こども部長、浦川教育総務課長、山口学校教育課長、田代未来課長、荒川図書館・歴史資料館館長、大曲支援課主幹
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 前回会議録の承認
- 7 教育長の報告
- 8 提出議案 1.第10号議案 武雄市公立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱
2.第11号議案 武雄市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱
3.第12号議案 武雄市就学援助規則の一部を改正する規則
- 9 その他 ア.各課等からの報告
イ.次回開催日程について
ウ.その他
- 10 会議録

午後2時 開会

諸石委員長

皆様こんにちは。夏休み前まで子どもたちには大きな事故もなく夏休みに入ったようです。そして夏休みは、それぞれの地区や市の行事などで、夏休みならではの活動に取り組んでいるようでございます。その行事も、市当局や地域の方々から、いろいろなご支援をいただいているようでございます。そして今、わんぱくスクール青島サバイバルキャンプが行われていますが、それぞれの方々に励ましに出向いていただいたりしております。有難うございます。無事に元気で活動を続けているようでございます。

では、ただいまより7月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

まず、議事録署名人の指名でございますが、輪番になっておりましたので、今回は、榎崎委員さんでございます。よろしくお願いいたします。

それから、前回の会議録の承認でございます。目を通していただいたと思いますが、何かお気づきの点等ございませんでしたか。よろしかったでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、会議録は相違ないということで承認をしたいと思います。

では、早速、次に進んで、教育長の報告でございます。浦郷教育長よろしくお願いいたします。

浦郷教育長

それでは、前回6月30日以降につきまして、ご報告を致したいと思います。

前日も、議会は終了していた訳でございますが、地域活性化経済危機対策臨時交付金で、かなりの交付金措置がなされております。6月の議会で、教育関係で決定いたしましたことについて、別の資料をお届けしているかと思っておりますので、それをもって説明をいたしたいと思います。この詳しいところは、浦川課長からいいですか。お願いします。

浦川教育総務課長

それでは、お手元の資料をご覧ください。表紙に「平成21年度6月補正追加予算参考資料」と記載された資料を、本日、委員さん方に配布しております。その5ページを開いていただきますと、一番左側に順番が振ってありまして、4番目に、こども部未来課の事業が1件ございます。

それから、1枚飛んでいただきまして、7ページ、8ページにかけまして、教育部の関係の事業が記載されております。ページ順にそって、まず、5ページのこども部未来課所管の事業を説明していただきまして、その後、教育委員会ということによろしいでしょうか。では、こども部の方から、5ページの、放課後児童クラブ事業についての説明をお願いします。

藤崎こども部長

5ページの4番です。これにつきましては、事業名といたしまして、放課後児童クラブ施設整備事業ということで、事業費が2,808万4,000円。交付金が705万3,000円。その他につきましては、宝くじ助成金で2,058万円の補助を受けまして、残りが一般財源で45万1,000円です。これにつきましては、児童の安全な居場所づくりのための整備事業です。御船が丘小学校2クラブということで、現在、体育館のミーティング室で放課後児童クラブを開設しておりますが、現在、登録者数が90人以上になっております。来年の22年度から法が改正されまして、71名以上につきましては国庫補助金がなくなるということで、早急に2つに分けなければならないようになりましたので、関係の補助金をいただきまして、平成21年度中、3月までには完成して22年4月からは、2クラブで開設するようにはいたしているところでございます。

こども部未来課の分につきましては、以上です。

浦川教育総務課長

それでは、教育部、教育委員会関係分を説明いたします。7ページをお開きください。

7ページの27番であります。まず、これからご説明申し上げます。

事業名は、小学校トイレ洋式化事業となっております。事業費が2,022万3,000円。地域活性化経済対策臨時交付金を1,900万6,000円充てております。残りが一般財源でございます。

事業内容につきましては、安全・安心な学校生活の実現に向けたトイレの洋式化ということでございます。近年の生活様式の変化に伴いまして、子どもたちが、和式トイレに慣れていないといたしますか、そういう実態が数年前から報告されてありまして、学校のほうからは要望をいただいておりますけれども、何分にも事業費、予算の関係もありまして対応出来ずにはありましたが、今回、地域活性化経済対策臨時交付金を充てるということで事業を行うものです。

同じような事業として、32番目に、中学校トイレ洋式化事業。同じ内容で計画をいたしております。全ての小・中学校を対象にするということではありません。最近、大規模改造あるいは、

改築を進めております小・中学校については、もう既に洋式化に対応済みということもありまして、それ以外の小・中学校を対象にするということでございます。

それから、28番ですけれども、これは、小学校グラウンドの再生整備事業ということで、事業費は250万8,000円。うち交付金が235万7,000円、残りが一般財源ということで取組みます。対象となる小学校は、若木小学校と橘小学校です。この両小学校のグラウンドは表土の流出等で非常に固くなっておりまして、その分に対応するグラウンド整備事業でございます。

以上、教育総務課の分でございます。

あと、学校教育課、それから文化学習課からの説明をお願いいたします。

山口学校教育課長

29番の校務用パソコン整備事業です。これは、学校情報通信技術環境整備事業というのがありまして、国から2分の1の補助があります。それと、今回の臨時交付金を合わせて、2,321万円という事業費を充てまして、校務用のパソコンの整備を行う事業で小学校の211台分です。

それから、30番に上げているのは、同じく学校情報通信環境整備事業として、電子黒板を設置する事業です。どういう電子黒板かと具体例を言うと、よく天気予報かなんかで出てくる、あのような映像を見ると、黒板に書くよりも、より、こどもの興味・関心をそそりながら、指導法の改善に寄与するんじゃないかということで、電子黒板を、各小学校に1台ずつ配置するものです。

それから、31番目の理科教育設備整備事業についてです。平成23年度、学習指導要領が変わりますが、それに向けて移行措置も入ってきて、小学校に新しい項目が加わってきますので、それに応じた理科教育の備品を整備するという事業で、845万3,000円を上げております。

それから、1つ飛びまして、33番が中学校の校務用パソコン整備事業で、1,309万円。

それから、34番が中学校の電子黒板設置事業ということで、135万円であります。

35番が理科教育設備整備事業、中学校の分で、252万5,000円になっております。

それから、8ページの44番は、山内給食センターの老朽給食配送車更新事業です。これは、配送車が耐用年数を過ぎておりましたので、これを新しい車に更新するというので、433万6,000円の事業費、そのうち交付金措置として407万5,000円を計上しております。

それから、45番、山内給食センター調理室・下処理床面塗布事業160万7,000円、46番、山内給食センター便所改修事業204万7,000円、47番、山内給食センター老朽備品更新事業259万7,000円を計上しているところです。施設もそうですけど、調理室内部の設備の古くなった分を更新し、安全・安心な学校給食の提供のために、施設・設備を整備することで、今回の地域活性化経済危機対策臨時交付金事業として採択していただきました。

以上です。

浦郷教育部長

続きまして、7ページ、36番です。

文化学習課の関係ですけれども、若木公民館の倉庫改築事業で400万円の事業費を考えております。これは、現在もある訳ですけれども、倉庫が非常に古くなって雨漏り等がしているというような状況で、これを建替える事業であります。

37番、武内町のグラウンドトイレ設置事業については1,800万円を計上しています。今現在、体

育協会で維持管理をしていただいていますけれども、これが非常に老朽化もしており、不衛生で、ドア等も壊れているということで新たに建替える事業であります。

次が、北方公民館空調設備改修事業285万2,000円ですけれども、これも度々、空調機器がストップしているという状況にありますので、これについても早急に改修するものです。

39番が、武雄市文化会館大ホール棟上部屋上防水改修工事1,768万円です。これも、経年劣化による雨漏りの防水改修ということで、年間計画で対応しておりますけれども、少しでも早く改修をしたいということで予算計上をさせていただいています。

続いて40番、文化会館の冷温水管等改修事業330万円です。この冷温水管施設改修の工事をするための実施設計の業務委託ということで考えております。

それから41番、文化会館のインターネット環境整備事業ということで、現在、文化会館を使って、研修・講習等がなされている訳ですが、そのときインターネットを使った研修・講習会を実施する度ごとに、新たに配線し直すという形になっておりますので、そういうことじゃなくて、恒常的に、各部屋にインターネット環境の整備をして、少しでもこの会議室の利用度を高め、皆さん方の利便性を図るということで考えているところであります。

続いて42番が、文化会館の遮光カーテン改修事業ということで、これも経年劣化をしている遮光カーテンの改修、主にミーティングホールとか大集会室A等を考えております。

続きまして8ページ、43番ですけれども、フットサル防球ネット設置事業ということで、山内町スポーツセンターに、フットサルの普及及び施設の保護のための防球ネットを設置して、利用促進を図っていききたいということで考えております。

以上、文化学習関係であります。

浦郷教育長

私の報告の中で触れるには、ちょっと量的に多いものがありましたけれども、8ページの教育費計を見ていただきますと、事業費で約1億4,000万円程度の対応をいたしたところでございます。これによりまして、特に職員用のパソコンとか、今まで要望しながらなかなかできなかった分が進んだという部分がございます。一応、この交付金の措置につきましては以上にしておきたいと思っております。

それから、2つ目としましては、インフルエンザが問題になっており、武雄のほうでも実際に発生しておりますけれども、対応としては、皆様ご存じのとおり、普通のインフルエンザ並みの対応というようなことに落ち着いておりますので、休みにも入ったこともございまして、特別な対応はしておりません。

それから、レジュメの1ページに教育長報告というカレンダー式のものを入れておりますが、この中では、7月7日に市学校管理研修会を、教頭、教務を対象にいたしております。この表の下の方をちょっと省いてしましまして、きょうは24日でありますので、実は、昨日、23日にも、この市学校管理研修会2回目を実施しております。これは、教頭、教務を対象にした研修会でありまして、法規の演習、講師の講話、今回は、前の、県学校教育課参事でありました田代先生とか、昨日は、山代西小学校の栗山校長先生とか、朝日公民館の河内館長さんとかに話をいただいております。

7月に2回研修をするというのは意味がある訳でありまして、実は、今月末から管理職の選考試験がある訳わけです。その勉強も兼ねているところでもございます。ちなみに、本年度は、教頭に20名、校長に11名が受験予定をいたしております。

それから、教科書の採択事務が片方で進んでおりまして、7月29日に杵西管内の採択協議会が予定されております。それを受けましてご連絡したかと思いますが、採択は市、町教育委員会での採択となっておりますので、8月7日に臨時の教育委員会をお願いしたいと思っているところでございます。

それから、生涯学習関係になろうかと思いますが、冊子の19ページをごらんいただきたいと思っております。

今年、10月17日・18日の両日で県民体育大会が開催される訳でございますが、その準備等も進めておりまして、一番下をご覧くださいますと、サブタイトルとして「がばい輝け！ 黄金の大地といで湯の里で」という中学生の作品の採用を決定いたしております。武雄・杵島ということで「黄金の大地といで湯の里」という素晴らしいタイトルを応募してくれているようでございます。

それから、同じ19ページですが、関西大学との交流事業が8月に予定されております。今回は、ボクシング部が武雄で合宿するというところでございます。

それから、いったり来たりして申し訳ございませんが、最後の23ページで、青少年係で対応してもらっており、委員さん方にもご参加いただいたようですが、現在、青島キャンプで、今日は雨でセンターに避難したようでございますが、元気で頑張ってくれているようであります。

それから、あとで説明があるかと思いますが、7月27日からは雄武町の児童交流派遣団の受入れということになっております。

それから、文化関係では、その前の22ページでございますが、現在、美術協会の25周年記念展が開催されているようであります。25周年記念ということで、非常な力作が並んでいるようでございます。それから、今回は、8月11日からでしょうか、企画展として「鉾山（やま）のにぎわい」というのを予定されているようです。北方町と旧武雄市、山内町が合併して、3周年記念というような意味合いで開く予定になっております。

それから、あと詳しくはお尋ねいただいたら担当のほうからお話しできると思いますが、20ページで、宇宙科学館の10周年の記念式典がございまして、丁度、皆既日食と重なりまして、頻りに宇宙科学館がマスコミに出ているようでございます。

ずっと戻りまして、17ページをご覧くださいと思います。通学合宿が各地区で行われておりまして、幾つか行くことができましたけれども、非常に意義のある通学合宿をしてもらっているようであります。

それから、球技大会がありますので、その準備もそれぞれでしてもらっているということです。

それから、公民館ブログで発信してもらっておりますけれども、その中では、夏休みに入る前の安全講習会を各地で行っているというのが写真入りで公開されておりました。水難救助を中心とした安全講習会だったようであります。こういうのは、またほかの地区でもお願いしたいなと思ったところでございます。

学校教育関係では、2学期制を全市的に実施している訳でありまして、特徴的なのは、個人懇談を夏休み中にながりの学校でかなりの時間をかけてなされております。これは、夏休みの使い方として非常に変わってきた点かなと思っております。子どものことで、保護者としっかりと話ができるという機会であろうと思っております。

それから、この夏休み、ちょっとプールの傷みがありまして、山内東小が、今日までぐらいは水泳の苦手な子どもへの指導はできるけれども、漏水がひどくて、明日からは使えないと。これは、町民プールのほうで対応をしてもらっております。

若木小学校のプールも、それほどじゃありませんけれども、やや漏水があるということで、今後、対応をしていくことになろうと思っております。

それから、先生方の力を高めてもらうということ、大きなねらいとして掲げている訳でございますが、16ページ、8月7日に市教研教育研究大会を計画しております。これは、何回も毎年やっている分でありまして、各教科等での研修をしっかりといただくと、指導要領が変わる時期でもありますので、基本的な研修もしっかりしていただくと。なお、この日は龍谷短期大学の貞松学長さんの講演も予定をしているところであります。幼・小・中の連携あたりをメインにしてお話しいただこうかと思っております。

それから、その少し下、8月24日、武内小学校の国語セミナーとしておりますが、これは、武内小学校、何回かこの時期にかなり大規模な国語に関する研究会をしておられまして、長崎県あたりからもかなりの参加者があるようであります。

それから、26日には、武雄北中校区での小・中連携の研究発表を計画されております。

そういうことで、いわゆる誰もがしないといけない基礎的な研修と、それから自主的な研修、それにその上の7月10日をごらんいただきますと、英語セミナーとしておりますが、これは武雄中学校で昨年も何回かしていただきました。それから、これには小学校の外国語活動の英語活動の研修も兼ねて、武雄市外から小学校の先生もかなり見えて研修がなされております。

それと、教師力向上セミナーというのを開催しておりますが、今年度、8月29日には、ちょっと行事表には出ておりませんが、佐賀市に「トレイン」という教師塾がありますので、そこの合同研修も計画されているようでございます。自主的な研修・発展的な研修ということで教師力向上に生かしていただきたいというふうに考えております。

それから、現在、昨年度の教育委員会評価を実施中でございまして、15ページの表を見ていただきますと、7月14日に第1回の評価委員会ということで、下の表では第2回の評価委員会を7月31日、8月21日3回目で最終ということでございます。

また、冒頭に委員長さんのお話しにありましたように、夏休みに入る前からこれまで、子どもたち、職員ともに、大きな事故もなく無事に過ごしているところでございます。

以上で報告を終わります。

諸石委員長

ありがとうございました。

まず、予算について何かお気づきの点、質問等ございませんか。B委員さん、どうぞ。

B委員

わからないので教えてください。財源のその他という欄、これは、どこから来るんですか。

浦川教育総務課長

5ページのその他については、こども部長から説明がありましたが、宝くじ助成金だったですかね。それでは、あと、7ページの校務用パソコン以下、その他の中身について担当課長から説明をお願いします。

山口学校教育課長

その他については、まず、校務用パソコンですと、情報通信技術環境整備事業として国の2分の1補助が1,160万5,000円あって、その上に今度の交付金で1,090万7,000円ですね、その分が国のから付いてくるわけです。そうすると、一般財源の持ち出しが、右側の69万8,000円という形で見てもらえば分かると思います。同じような形で理科教育設備整備事業というのも、国の補助事業の分に今度の臨時交付金の事業がついたという形です。

B委員

ありがとうございました。

諸石委員長

ほかに委員さん方からございませんか。

私の方からの質問ですが、電子黒板設置事業が小・中学校にあります。これは、指導法の改善に寄与する目的等をもって、最新機器として活用しようということで購入されることですね。しかし、一方の弊害的な問題として、これが出てきたために先生方が今度は字が書けなくなっているという問題が出てきていたものですから、必要なかと思ったりするんですが。

山口学校教育課長

基軸は、私たちがいつも学校訪問等と言っているように、杵西型研究授業のスタイルということで、板書なら板書という形でいるんな目当てがあり、それに対して予想されること、そして考える時間、そういう流れがあって、そしてまとめをやるという、一連の流れがきちんとした授業の型があります。

ただ、黒板だけの古い授業ということは、これは不易な部分でありまして、これに新しい、今の時代のニーズに合わせて、そして、興味を引くようなものをあわせて提示できれば、授業そのものが非常に子どもの興味・関心とか、そういう学習意欲というのをかき立てるんじゃないだろうかということで、これが絶対ということはありませんけど、そういうものをどんどん設置して環境を整えて、そして、子どもの学習の成果を上げようということに使っていきたいと思っています。

諸石委員長

小・中学校のトイレの洋式化というのは、本当にいいことだと思います。（「いいですか」と呼ぶ者あり）A委員さん、どうぞ。

A委員

学校教育課のほうの31番、それから35番、理科教育設備整備事業関係が小学校、中学校ありますが、せっかく交付金やその他の国庫補助等がこれだけの金額があっているのに、何でそれよりも下回る事業をされるのか、これの説明をお願いします。

浦郷教育部長

今、委員さんが言われているのは一般財源がマイナスになっているからということだと思います。そのことは、理科教材備品関係は、当初予算の段階から全部一般財源で付いていた訳です。その後で、この交付金制度の活用ができるということになった訳です。マイナスというのは、もともと一般財源で計上していた分を落として、交付金と国庫補助金で充てる。そして、総額も上がっております、1校当たり100万円だったですかね。ということで、ボリュームアップをしている。マイナスというのは、一般財源が減額になって、その代わりに先ほど申し上げたように、国庫補助金なり交付金で手立てをしているということです。事業費は増えております。

A委員

この表で見る限り、事業費がせっかく交付金や、あるいは補助金があるよりも少ない事業費の額で計上がなされているからですね。だから、その計上の仕方等の質問でございました。

諸石委員長

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、この予算についてはこれで終わりたいと思います。

次に、教育長の報告という中で、何かご質問等ございませんでしょうか。いいでしょうか。A委員さん、どうぞ。

A委員

教頭先生、校長先生への昇進の希望の数字を先ほど言われましたけれども、他薦の状況、あるいは自薦の状況、そこら辺のところ、もし話すことができればお教え願いたいと思います。

浦郷教育長

今年度から校長も自己推薦で受けられるということになったということをお話ししたと思います。今の段階では自己推薦での受験希望は聞いておりません。といひますのは、自己推薦の場合、真っすぐ県に行きますので、私どもも校長もわからない場合がございます。県で受け付けたときに返ってくると、何人受けていますということが。ですから、今の段階では自己推薦で受けている人がいるかどうかというのは分かりません。

先ほど言った数字はこちらから推薦した形ということです。ですから、自己推薦でも受験できるということは、希望した人をこちらで委員会の段階でとめるというのは非常に難しいところもございます。ですから、全県的には、教頭では数百名の受験者が出ている、状況としてはそういうところですよ。

A委員

わかりました。

浦郷教育長

それから、この機会を利用してお話しさせていただきますが、16ページの7月13日に多忙化対策検討委員会がございます。先生方は非常に忙しいということがよく話題になる訳ですが、今年度から多忙化対策検討委員会というものが各事務所単位で行われておりまして、これは事務所、それから教育委員会、校長、職員団体の代表等まで含めた多忙化対策の検討委員会ということで

すね。そういうのも新しく始まっております。

諸石委員長

ほかにございませんか。A委員さん、どうぞ。

A委員

若干今のことなどに関連するかと思いますが、先生方は事務煩雑と申しますか、そういうことに追われることが多くなってしまって、子どもと過ごす時間というのが非常に制限されてきているというのをよく耳にしたりする訳ですね。そこら辺についての対策等は今後なされるのでしょうか。そこら辺いかなもののでしょうか。

浦郷教育長

この多忙化対策検討委員会は、山口学校教育課長も出てくれているんですが、そのほかに、文科省のほうも研究の委嘱をされていまして、A校は今の状態で仕事をしたときにどうかと。非常に忙しいと。状況はどういう状況かと。今度B校は、その忙しさを軽減するために、非常勤の方を2人なり3人なり入れたら、本務者の人が少しは、子どもと向き合う時間がふえるのか、あるいは残業の時間が減るのかと、そういう研究も今年度から片方で始まっております、まだちょっとどことは言えませんが、そういうことも2学期あたりから実際に研究として始まる予定になっております。ですから、そういうのをもとに、いろいろまた施策としては出てくるだろうというふうに考えられます。

A委員

より事務的な簡素化というか、そういったこともぜひ検討していただきたいものだと思いますので、よろしく願いしておきます。

諸石委員長

関連してですが、多忙化のこと、本当にいい検討委員会だと思います。パソコンも先生方には全部配布されるということですから、それをどうにかいい方向に活用していただいて、と思ひながら、現在、現場ではよく、中学校ですが、職員室に戻ってきたらすぐパソコンに向かっているというような感じで、そんなにあれかなと思うようなところがありまして、本当にこれは謙虚に検討していかなければいけないんじゃないかなという感じがいたします。

ちょっとつけ加えの発言になりましたけれども、気付きでございました。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいでしょうか。では、教育長報告はこれで終わりたいと思います。

次に、議事に入りたいと思います。

では、第10号議案についてお願いいたします。

浦川教育総務課長

それでは、第10号議案から説明をしたいと思います。

第10号議案と第11号議案については関連がございますので、続けて提案をさせていただくということで、こども部の支援課から説明に来られておりますので、第10号議案、第11号議案をよろしく願いいたします。

大曲支援課主幹

支援課の大曲と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、今回お願ひいたします第10号、第11号議案についてご説明申し上げます。

今回の改正は、平成21年度幼稚園就園奨励費補助金に係る国庫補助金の限度額の変更に伴っての要綱の改正をお願ひするものでございます。

まず、第10号議案の公立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の改正の説明でございます。

4ページの新旧対照表でご説明をさせていただきたいと思ひます。

別表第1、区分の 、 、 ですけども、この分で、第1子の分は年額2万円から2万円で、変更ございません。第2子の分が3万8,000円を4万9,000円、第3子以降を6万6,000円から7万7,000円に変更になっております。

別表1 - 2は、月割りで計算をしておりますので、ここは説明を省略させていただきたいと思ひます。

続きまして、別表第2です。この分は昨年から、小学校の1年生から3年生までの子どもさんがいらっしゃる場合は第1子ということで考えて計算をする方法の分ですけども、この分で区分の 、 、 全部同額で、第2子の場合が2万6,000円をそのまま2万6,000円です。第3子以降の分が3万2,000円を7万7,000円に改定になります。

続きまして、第11号議案は私立幼稚園の就園費補助金交付要綱の改正でございますけれども、この分も新旧対照表をお願ひしたいと思ひます。9ページです。

別表第1、区分の 、 ですけども、第1子の場合が年額14万6,200円を15万3,500円、第2子、19万円を22万4,000円、第3子以降、26万円を29万4,000円、区分 の場合が、第1子、年額11万8,000円を11万6,300円、第2子、16万5,000円を20万6,000円、第3子以降、25万3,000円を29万4,000円、第1子、8万4,200円を8万8,400円、第2子、14万6,000円を19万2,000円、第3子以降、24万8,000円を29万4,000円、 の区分ですけども、第1子、5万9,200円を6万2,200円、第2子、12万9,000円を17万9,000円、第3子以降、24万3,000円を29万4,000円という変更のお願ひです。

次のページで別表第2、この分も小学校の1年生から3年生の子どもさんが、お兄さんお姉さんがいらっしゃる場合の計算ですけども、この場合 、 の区分が第2子の場合、16万2,000円を16万8,000円、第3子以降で17万6,000円を29万4,000円、 の区分が第2子の場合、12万9,000円を13万5,000円、第3子以降、14万7,000円を29万4,000円、 の区分で第2子の場合、10万6,000円を11万円、第3子以降、12万6,000円を29万4,000円、 の区分ですけども、第2子の場合、8万3,000円を8万7,000円、第3子以降、10万6,000円を29万4,000円という変更になっております。

以上で説明を終わります。よろしくお願ひしたいと思ひます。

諸石委員長

A委員さん、どうぞ。

A委員

この就園奨励費に関連しては、補助の出し方といひますか、そういったものは平成20年度、前

年と変わらずに、今説明していただいた金額だけが増額になってきたと、こういうことでございますね。内容的には同じということですね。

大曲支援課主幹

はい、変更になる部分は金額の部分です。内容的には去年と一緒にです。去年、小学3年生までに多分、学年が1年ずつずっと上がって行って、去年、平成20年度から小学3年生までを基礎というか、考えるということになったと思います。

A委員

第1子がどこまで学年が行くのかなと思っていましたけど、3年生で一応止まったんですね。

大曲支援課主幹

はい、そうです。

諸石委員長

ご質問ございませんか。

本当に恥ずかしい話ですが、私はこういうものを今まで見てきておりませんでしたので、質問をいたしますが、現行から改正されてこれだけの金額が変わっていくというのは、これはどういうことからこういうふうになっていくんですか。

大曲支援課主幹

ちょっとそこら辺、説明しにくい面があるんですが、やっぱり子どもたちに補助というか、そういったのが金額が少しずつ増えているというか、支援が子どもたちに手厚くなってきているかと思えます。

A委員

この就園奨励費は15年、もっと前でしたかね、保護者の負担を軽減するために補助をとということで全国展開をされまして、それによって、私立幼稚園に運営補助というのがありますけれども、それとは別個に保護者に対する補助ができた訳でございます。それが段々と非課税の方、それから、所得が幾らまでの方とか、そういう段階がここに示されたように5段階ですか、というような形で出来上がってきて、それぞれに改正がなされて来ました。

そして、なおかつ幼稚園に在園している人だけの形だったんですが、小学校1年生に上がったときに、3年前に、小学生が第1子が第2子が幼稚園という者も、いわゆる幼稚園での第1子に近いような形で、要するに兄弟が何人もいたら負担が大きいということで、小学校に第1子がいても、幼稚園での第1子じゃなくて、補助を上げていこうということで、普通ですと、幼稚園に例えば3人在園、そして1人卒園したら2人にしか補助が出ない。この2人が第1子、第2子としてしかみない訳ですね。しかし、1人が卒園して1年生になったけれども、この1年生が第1子だと。そして第2子、第3子が幼稚園にいるということで、この第3子などは、今度は29万4,000円というような高額な補助の出し方になってきた訳ですね。

C委員

やっぱり学年が上がるにつれて子どもたちにかかるお金も増えていくので、この区分というのは私たちではどうしてもできないんだろうとは思いますが、やっぱり3年生までで止めておかないで、親としては、もっと上の学年に上がっても補助していただけたら本当に助か

るなと思います。

諸石委員長

現行と改正との間でかなりの額が出てきますが、市の財政としても、いいからこうなっているのかなとは思いますが、やっぱり子どもが大きくなればなるほど心配と金は大きくなるというような状況で、保護者の方の補助金の増額のお願いも分からないでもないんですが、やっぱり限られておりますので、これが精一杯かなと思います。ほかに何かご質問はございませんか。

これは現行からこのようになるときに、何か基礎的な計算の方法というのはあるんですか。

大曲支援課主幹

一応額の決定という形で国から通知が来るものですから、それに従って市の要綱のほうも改正をお願いしているところです。

諸石委員長

何かほかに委員さん方からございませんか。

そしたら、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、改正案をお願いするということにいたします。

次、第12号議案をお願いいたします。浦川課長さんどうぞ。

浦川教育総務課長

それでは、12ページをお願いいたします。

第12号議案 武雄市就学援助規則の一部を改正する規則。

武雄市就学援助規則（平成20年教育委員会規則第9号）の一部を次のように改正する。

別表第2中「学校保健法施行令（昭和33年政令第174号）」を「学校保健安全法施行令（昭和33年政令第174号）」に改めるということとでございます。

学校保健法施行令が学校保健安全法施行令に改正されました。昨年の教育委員会で、上位法の改正に伴う条例規則等の改正ということで、提案をし、承認いただきましたが、その後に施行令の一部改正がございましたので、今回改正をお願いするということとでございます。

13ページの新旧対照表をごらんいただきたいと思うんですけども、右側が現行、左側が改正案ということで、表の中にありますのでアンダーラインがちょっと見にくいんですけども、中ほど右側「学校保健法施行令」となっておりますが、左側を見ていただきますと「学校保健安全法施行令」としてあります。法律のタイトルが変わった分で今回の規則の改正ということとでございます。

説明は以上です。

諸石委員長

規則の改正ということで、この学校保健法施行令が学校保健安全法施行令ということで変わっておりますが、名称の変更でございます。それはもうよろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

これを承認いたしました。

では6番目、各課からの報告でございます。

総務課浦川課長さんどうぞ。

浦川教育総務課長

15ページをお願いいたします。教育総務課です。

補足説明をいたします。

まず行事報告からです。

7月15日、第4回準備手続が佐賀地裁で開催されました。

7月21日、市議会福祉文教常任委員会の学校視察がございまして、北方幼稚園、北方小学校、北方中学校、若木小学校と、午前中いっぱいかかって、この4校の視察をしていただきました。行事予定です。

7月31日、第2回目の評価委員会を開催いたします。

それから、ここに記載しておりませんが、8月7日金曜日でございますが、11時から、臨時の教育委員会を開催いたします。協議の内容は、教科書採択の関係です。

それから、8月21日、第3回の評価委員会を開催する予定です。

それから、8月26日水曜日14時から、臨時の教育委員会を開催いたします。協議内容でございますけれども、評価委員会の意見書が取りまとまる予定になっておりますので、市議会並びに市民に公表する内容についての最終審議ということでございますので、よろしくをお願いいたします。

8月27日、第8回九州地区市町村教育委員研修大会、これは島原市で開催されます。以前ご案内をいたしておりました通り、教育委員さん全員ご出席ということでございますので、よろしくをお願いいたします。後もって出発時刻等についてはご連絡をしたいと思います。

ここに記載ございませんけれども、9月16日ですね、第5回目の準備手続が佐賀地裁で開催されることになりました。

今までの開催状況をみてみますと、今回第5回目ということで、1月に第1回が開催されておりました、1、3、5、7、9月ということで、2カ月に1回のペースで開催されており、2カ月に1回の開催がどうも固定化してきたようです。それに向けまして、8月5日に八谷、中村両弁護士との打合せを予定いたしております。

教育総務課は以上です。

諸石委員長

では、学校教育課山口課長、お願いいたします。

山口学校教育課長

16ページをごらんください。

まず行事報告ですけど、そこに挙げている通りです。6月30日から7月23日までで、7月21日からきょう24日午前中まで給食監査が入ってきました。2番目の行事予定に入りますけど、金曜日午前中武雄小学校、それから、今日7月24日14時からの東川登小学校の給食監査を8月3日へ変更します。同じく、7月27日、28日、29日、給食監査はそのまま続きまして、7月30日木曜日午前10時から小学校教育課程説明会とありますけど、それと併せて橘小学校の給食監査がそこに入ります。

そして、この行事予定には入っておりませんが、8月22日土曜日にこども議会、8時半から

本庁の議場でこども議会を計画しております。

それから、8月26日午前8時半から武雄北中・若木小・武内小小中連携研究発表会も開催をする予定にしております。

あと、人事内申関係については、そこに記載している通りです。

以上です。

諸石委員長

では、文化・学習課からどうぞ。浦郷部長さんどうぞ。

浦郷教育部長

17ページですけれども、文化・学習課の関係について申し上げます。

行事報告については、日にちを追ってということではなくて、総体的に申し上げますけれども、教育長のあいさつ、報告の中にもありましたけれども、各町における通学合宿、夏休み前に西川登町、東川登町、山内町の各地区で行われております。今後は9月に橘町、朝日町が準備をされているところであります。

あと、夏休みを前に青少年育成町民会議、あるいは地区の懇談会、安全講習会、こういうものが各地区で開催をされているところであります。

それから、行事予定でありますけれども、7月25日、その前からもう既に行われておりますが、夏休みに入りまして、各町子連におけるスポーツ大会、もう既に公民館ブログ等でも紹介をされておりますけれども、予定されております。明日だけで3つある訳ですけれども、今日の雨で屋外スポーツがどうなるか、心配しているところであります。

主なものでは、7月31日社会教育委員の会を開催する予定になっています。

それから、18ページですけれども、佐賀県人権・同和教育夏期講座が8月4日と記載してありますけど、間違いでありまして、8月3日月曜日に武雄市文化会館で、佐賀県人権・同和教育夏期講座が開催されます。

16日は北方町、朝日町の盆踊り大会が予定されています。

続きまして、19ページ、スポーツ係であります。

行事報告の中では、まず7月7日に眉山キャンプ場の山開き式が開催されております。

次が11日、総合型地域スポーツクラブのふれあい歴史巡りウォーキングということで、これはスポーツ系の総合型地域スポーツクラブ事業と、文化財系の歴史にふれあう事業ということで、2係2事業をタイアップさせて今年度から始まっている事業であります。多くの方に参加をいただきました。

それから、7月15日が県民体育大会の武雄市実行委員会、これは行政部門の実行委員会でございます。

20日にペタンク大会と書いておりますけれども、この資料をつくった段階では行う予定でありましたけれども、20日雨のために中止をしておりますので、申し訳ありません、削除をお願いいたします。

それから、スポーツ系の行事予定でございますけれども、8月からは、具体的に県民体育大会の開催に向けた準備委員会、あるいは種目別代表者会議、こういうものを準備しております。

それから、7日から11日まで関西大学との交流事業でボクシング部の合宿が武雄で行われます。約40名の参加予定であります。その中で、9日には関西大学の協力をいただきまして、親子ボクシング教室ということで、これは全然経験のない人に大いに参加してくださいということで、ホームページ等で呼びかけをしているところであります。

続きまして、20ページ、文化芸術係であります。

7月8日、県立宇宙科学館の10周年記念式典が開催されております。

それから、10日が武雄市文化連盟設立の祝賀会が開催されております。

あと、今後の行事予定ですが、県の高校演劇祭が7月26日、今度の日曜日に開催されます。

それから、文化協会、文化連盟の役員会、宇宙少年団定例会、キャンプ、こういうものを準備しております。

次21ページ、文化財係であります。

行事の報告でございますけれども、7月7日に武雄市の伝統芸能保存連絡協議会、これは年2回開催をしておりますけれども、今、保存連絡協議会に加盟をいただいている伝統芸能の保存団体、こういう各団体の代表者が集まっていたいて、保存していくためのいろんな苦労話とか、あるいは、各団体から知恵をお貸しいただきながら、どのようにして伝統芸能を守っていこうとかの交流会を開催して、皆さん各団体、垣根を越えた交流ができたと思っております。

それから、7月8日の文化庁から楼門視察としておりますけれども、これは楼門について、所有者の武雄温泉株式会社が楼門の修復を実施したいという計画がございます。これについて、文化庁のほうから実際補助事業としてできるのかどうかということで視察にお出でいただいているところであります。

11日のファミリー史跡巡りは、先ほどの総合型地域スポーツクラブと同じであります。

予定としては、8月5日におつぼ山神籠石保存管理計画を策定することになっておりますが、それを委託する業者選定のためのプロポーザルのヒアリングを開催するというところで準備をしております。

以上です。

諸石委員長

ありがとうございました。

続けて、図書館・歴史資料館から、荒川館長さんお願いいたします。

荒川図書館・歴史資料館館長

図書館・歴史資料館です。

行事の報告ですが、特に先ほど教育長から言われましたが、7月18日から8月2日まで、武雄市美術協会の創立25周年記念の展覧会を開催しているところです。絵画、書道、陶芸、写真、各々23名の方々の作品を展示しております。

それから、昨日と今日なんですが、原爆展を開催しているところです。

次に、行事予定ですけれども、7月29日から31日まで、杵島商業高校生2名、インターンシップを受け入れております。

あと、8月11日から企画展、これは文化学習課と合同し、これも先ほど教育長言われましたが、

北方町と武雄市、山内町が合併したという3周年記念ということで、「鉾山(やま)のにぎわい」という題で企画展をするようにしております。これは10月4日までです。

以上です。

諸石委員長

ありがとうございました。

では未来課、部長さんどうぞ。どうぞお願いします。

藤崎こども部長

未来課ですけれども、行事報告は担当からいたしたいと思いますが、私のほうから、わんぱくスクールの青島サバイバルキャンプを21日から今週の日曜日の26日まで、5泊6日で行なっておりますけれども、きょうで4日目になりました。この間、教育委員の皆様には現地のほうに激励に出向いていただきまして、本当に有難うございました。この場をお借りいたしまして、お礼を申し上げます。

田代未来課長

それでは、未来課の田代です。

部長も申しましたように、わんぱくスクールの訪問有難うございました。教育長の話しでもあったのですが、今日をご覧のとおりのおいにくの天気で、島ですので、風が強いということで、今日はセンターに避難して様子見ということで、朝方連絡を受けております。病人、けが人等はないということですので、予定通り26日の日曜日午後3時ぐらいにはこちらのほうに帰ってくるという日程になっております。

行事予定でございますが、27日から31日、雄武町の児童交流派遣団の受け入れということで、お手元のほうに、別刷りの武雄市児童交流派遣事業行程表、雄武町からの派遣団の行程表と、派遣団員の名簿、それから、それぞれの行事等の式次第等を差し上げております。27日に、引率が伊藤教育長さんと、教育委員会の花松係長さん、共栄小学校の佐々木先生の3人さん、子どもたちが12名こちらに来るようになっております。

お手元の1枚目を広げていただきまして、2枚目に名簿を差し上げておりますが、左側が雄武町からの12名の児童の名前でございます。右側が今年の2月、真冬に雄武町にこちらからお世話になった児童の名簿で、こちらのほうがホームステイを受け入れるということで、人数的にちょっと合わないところがありますので、1名の方を3人で見るとか、泊まるのはどこかの1軒の家で泊まるということですけど、そういうことで組み合わせをいたしております。

今のお子さんはいいろいろあって、猫アレルギーの子がいたり、蓬アレルギーの子がいたり、煙アレルギーの子がいたりということで、こちらの保護者さんとも話し合っ決めていただきました。

27日は、長崎空港に3時20分着ですので、この日は真っすぐ長崎のほうに、武雄市のマイクロが空港で待っていて、長崎まで送ると、長崎に泊まるという行程になります。

2日目28日が、朝8時20分に武雄市のマイクロバスでお迎えに上がりまして、ここに書いてある通り、長崎市内を見て回られて、昼にはハウステンボスへ入るということで、16時40分に武雄市役所に来ていただきまして、市長表敬訪問ということで、2枚目のほうに式次第を書いており

ますが、歓迎式を4時半から5時までの30分間、3階会議室で行うようにいたしております。教育委員の皆様にもご同席をお願いしたいと思います。

それから、3日目の午前中は、朝9時から山内西小学校との児童交流会を入れております。この日の半日は、雄武町の子どもたちが、山内西小の子どもたちと交流を行うということで、交流会の式次第もお手元のほうに参考資料として差上げております。

同じくこの日の11時から、ホームステイ先の子どもとホストファミリーということで、保護者の方と一緒に対面式を行って、午後からはそれぞれのホームステイのほうへ別れていくという形になります。

30日ですが、ホームステイ先から、午前中はホームステイ先で引続き交流ということで、12時50分から13時、10分間ですけど、市役所でお別れ式を行いまして、その後夕方まで、ここに書いておりますように、武雄市内の宇宙科学館のほか、エポカル武雄、楼門、温泉物産館と回りまして、この日の夕方に福岡へ入るということで、この日は福岡泊になります。

5日目の31日は福岡から朝8時5分の便で雄武町へお帰りになるという、以上のような行程を組んでおります。

教育委員の皆様には、お忙しい中ですが、市長表敬訪問とか対面式とか歓迎のあいさつとか、激励の言葉をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いしたいと思います。

それから、この会議が始まる前、少年の船協会の野田さんがお話をされましたように、8月17日から22日まで、少年の船の沖縄研修が入っております。

以上でございます。

諸石委員長

以上、各課からの報告をしていただきました。追加として8月22日のこども議会があります。それから、8月3日の人権・同和教育夏期講座は、こちらが本当で、8月4日の佐賀県人権・同和、この4日の分は訂正ということです。3日に訂正をしてください。

では、この報告について何かお尋ねは、はい、教育長さんどうぞ。

浦郷教育長

委員さん方に、杵島・武雄地区中体連の成績表をお届けしているかと思っております。18日と19日、幾つか日をずらされたものもありますが、18、19日をメインに行われまして、それぞれの種目、非常によく頑張ってくれておりました。丸印、二段丸印が県大会に出場する学校、あるいは個人であります。この県大会は7月29日と30日に三神地区で開催予定でございます。

それから、カラー刷りではないと思いますが、チラシを差し上げていると思います。「第23回昔話を楽しむ九州沖縄交流会佐賀大会」ということで、これは、武雄市教育委員会が後援をいたしているものでありますが、九州各地から、そして講師さんは九州外からもいらっしゃるということで、内容的には非常に質の高いもののようにございます。オープニングでは中野の子ども荒踊りが出演するというところでございます。聞きましたら、500円とか800円とか会費がありますけれども、それぞれの会に別々に参加も可能だということで、ご都合がつかれたら参加をお願いしたいと思いますし、また呼びかけていただけたらと思います。佐賀県に来るのが8年に1回、武雄では初めての開催ということでございます。

それから、資料はないと思いますが、ジュニアウィンドでプラスバンド頑張ってくれておりますけれども、県の吹奏楽大会が、佐賀市文化会館の大ホールで開催予定でございます。小学校はありませんので、武雄中学校が7月25日に、それから、青陵中が26日、27日に山内中、川登中、北方中が出演します。以上、追加でお知らせいたします。

諸石委員長

各課からの報告について、何かご質問はございませんか。C委員さん、どうぞ。

C委員

先ほどおっしゃられた「昔話を楽しむ九州沖縄交流会佐賀大会」の締切りが22日となっておりますが、まだ入場券は大丈夫なんでしょうか。

浦郷教育長

タベ確認しましたけれども、まだ余裕はあるようでございますので、結構かと思えます。

諸石委員長

他にございませんか。はいどうぞ、C委員。

C委員

追加と申しますか、昨日ですね、学校教育課だと思っておりますけれども、みちくさリンクの会、問題を抱える子どものお母さん方が集まってお話をしたり、カウンセラーの明石先生の他に3人いらっしゃって、明石先生を入れて4名のスタッフの方と、それから、私を入れて5名集まってたくさんお話をしました。6時から9時の間で自由に、ご都合のつく時間にいらしてくださいということでしたけれども、話が大変はずみましてというか、悩みも大きくて、こんなときどうしたらいいですかとか、自分の子どもがこうなんだけどと、ああ、うちもうちもという話がたくさん出まして、9時で終わらずに、閉館を過ぎて電話で怒られるまで話をしました。初めて私も出席させていただいたんですけれども、どんなふうになさっているのかなという思いと、うちの子もですねというのと、両方お話をして、大変有意義に過ごさせていただきました。

参加が5名でしたのでちょっと残念ではあったんですけれども、これからこういういい話というか、親としてこういう話ができる場所があるというのはとても心強くて、大変いい企画をしていただいておりますので、参加者を増やす工夫をしていけたらと思います。

以上です。

諸石委員長

そういうご意見もありますので、学校教育課、多分保護者の方々への参加呼びかけが一番だと思います。はい、山口課長さんどうぞ。

山口学校教育課長

以前私も、ホットリンク会に出向きまして、そこで活発に子どもさんの、また、親御さんの関わりようというか、そういうものをいっぱい出してもらって、そのときは、14、5名ぐらい集まって、そのときも9時過ぎまですることができました。非常にいろんなご意見を聞くことができました。そういう形で、何か機会があるごとにそのような形で呼びかけをしたいと思っています。

諸石委員長

はい、よろしく願いいたします。

ほかに質問は、はい、A委員さんどうぞ。

A委員

8月22日、こども議会が開かれるということですが、これは子ども以外の参加というか、そういったところを、もうちょっと詳しく教えてもらいたいと思います。

諸石委員長

山口課長さん、どうぞ。

山口学校教育課長

今日午前中、話し合いがもたれて、どういった参加者とするのか、広報活動とかはどうしていくのかというのを、今、煮詰めているところです。是非、教育委員さんたちも機会があれば参加をして欲しいと思っております。具体的には、前に申し上げたように、質問事項としては1つテーマがありまして、未来の武雄市のまちづくりとして、現在武雄市が取り組んでいることへの質問、また、自分たちが考えた提案、それを概ね、それぞれが5分以内で提案をして、それに対して各部門の担当が答えていくという形で行うこととしております。また、親御さんたちの参加をどういうふうにしていくかなどを話し合っております。具体的には、そのような内容で進めているところです。

諸石委員長

はい、浦郷教育部長さん。

浦郷教育部長

私が会議に参加いたしましたので、補足いたします。

22日、子ども議会の開会になりますが、議会議員席に子どもの代表が座ると。各学校2名ずつ、小学校、中学校、合同で開催をする。小学校については小学6年生を対象に2名、中学校が3年生で同じく2名、部活等の関係でどうしても参加できない場合については生徒会等の役員という形に今はなっています。

質問については各学校1人、代表が行います。基本的には質問通告をしていただいて、それに基づいて執行部、要するに我々行政側のほうが答弁をすると。そして、あと各学校で取り組んでいることについて、武雄市として今後どういうふうに考えますかという提案については、提案をしていただいた後、市長が答弁を行うという形式で実施することで考えています。初めての取り組みでもありますので、どのようになるかというのは非常に不安な面があります。傍聴等についても当日は保護者さんに児童・生徒を連れてきていただくということで考えておりますので、多分保護者の方は傍聴をされるだろうと思っておりますし、それからもう1つは、各学校の代表という形でありますので、先生方も参加をされる。どのくらいの傍聴席を準備すればいいのか、今の議会の傍聴席で30ですので、それでは不足するということを考えて、あとは4階の会議室とかを使おうと。そして、通して3時間というのは非常に長い時間になりますので、前半、後半の途中に休憩を入れて、傍聴者の皆さんの関係のある児童・生徒、学校が言うときに傍聴席のほうに入っていたらどうかというふうな案も今考えています。

実際言って、きょう1回目の会議をいたしまして、次が8月17日か18日ぐらいに会議を開催して、ある程度きちんとまとめたいと思っております。目的については、今課長が申

し上げたように、色々な経験をするということと、自分たちのまちを大事に、そして住みよいまちをぜひつくっていただきたいという子どもたちの思いを行政も受けとめられるような場にしたいということで考えています。

諸石委員長

ありがとうございました。はい、A委員さんどうぞ。

A委員

今、浦郷教育部長、中学3年生とおっしゃいましたけど、山口課長は、2年生と言われたんですが、それは、

山口学校教育課長

訂正します。3年生です。

諸石委員長

よろしいですか。

A委員

結構です。

諸石委員長

各課からの報告はこれにて終わりたいと思います。

それでは、次に移ります。次回の開催日についてでございますが、こちらから案を申し上げたいと思いますが、よろしいですか。8月20日、午前中か午後か、どちらかにということで、いかがいたしましょうか。

〔「午前中は、定例の部長会がありますので、午後に。」と呼ぶ者あり。〕

では、8月20日の14時から8月の定例会をを行うことでよろしいでしょう。はい。では、よろしく願いいたします。

はい、A委員さん。どうぞ。

A委員

臨時委員会の日程の確認と、それから、臨時委員会の議事の内容をもう一度教えていただきたいと思います。2回ありますので、済みません。

諸石委員長

はい。浦川教育総務課長。

浦川教育総務課長

臨時の教育委員会の日程と、協議内容についてご説明いたします。

まず8月7日、金曜日の11時から、これは約1時間だと思います。場所は市役所4階の第1委員会室です。教科書採択の関係でご審議をお願いしたいと思います。

次に、途中、8月20日の定例教育委員会を挟みまして、8月26日、これは水曜日ですが、14時から委員会の開催を予定しております。内容につきましては、平成20年度全期分の評価報告書の市議会への報告、市民の方への公表の内容について審議していただくという目的でお願いしたいと思います。

以上です。

諸石委員長

はい。では、その他に移ります。委員さん方で今まで学校訪問とか各地のいろいろな行事なんかに参加されて何か所感とか情報とかありましたら、ここで、今からの色々な参考にとと思いますが、そういう情報交換の場としてもよろしいんですか、この委員会の席というのは。はい、浦川教育総務課長。

浦川教育総務課長

趣旨は結構かと思います。会議録に残すべき重要な審議事項であれば当然残すことになりまして、そうでない雑談的なものであれば、それは会議を閉じてからお願いしたいと思います。

諸石委員長

そしたら、一応情報交換というか、そういうふうな意味合いでとって、この会は閉じて、そしてまたちょっとだけお残りいただいて……。

浦川教育総務課長

はい、そういった今のような時間を設けるということ、今後引き続き行うということであれば、この会議の進行の中で組み入れるかどうかを協議したいと思いますので、今日のところは、一旦会議を閉じてから。

諸石委員長

はい。（「今のことに関連して」と呼ぶ者あり）はい、A委員さんどうぞ。

A委員

もしそういうことであれば、前以て具体的なところでの提案をしていくというような形で、委員長が提案されるのであれば、私たち委員へ聞いていただいて、それをここで提案事項としてあげていくと。その他の項で一括して言うんじゃないかと、そういう形をとってもらった方がいいんじゃないかと思います。

以上です。

諸石委員長

はい、有難うございました。せっかく委員さん方も学校訪問や、いろんな行事等で地域の方々と接しておられるので、そういうところから地域住民、また保護者の方々のお考えや意見等を私たちが聞いて、この委員会で情報を出し合って、そしてまた今後の学校教育、地域教育に生かしていく、私たちはその意見を伝える役割でもあろうかと思っておりますので、8月には閉会の後、そういう情報交換の場を、数十分になるかと思いますが、設けたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、きょうは7月の定例教育委員会はこれにて終わりたいと思います。ありがとうございました。

午後3時56分 閉会